

講習No.
S21
選択

【選択】子どもの多様な動きを引き出す運動遊び

講習の開催地

宇治キャンパス

講習の期間 平成28年10月29日(土)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師	香村 恵介(京都文教短期大学幼児教育学科講師)
36人	6時間	筆記試験		

主な受講対象者 幼稚園・小学校教諭(低学年)

講習の概要

幼少期の運動遊びは「何をするのか?」、「何のためにするのか?」、「どのようにするのか?」。上記の問いに対して、子どもの教育に携わる幼稚園および小学校教諭が共通理解を持って取り組むことが、心身共にたくましい子どもを育むために重要である。本講習では、最新の研究成果を交えながら運動遊びに関する理解を深め、幼小の連携についても検討する。また、実技を通して幼稚園および小学校の現場で簡単に実践可能な運動遊びの展開方法を学ぶ。

1限 9:00~10:00(60分)	2限 10:10~11:10(60分)	3限 11:20~12:20(60分)	4限 13:20~14:50(90分)	5限 15:00~16:00(60分)	6限 16:10~16:40(30分)
講義1：幼児期運動指針 2012年3月に文部科学省から全国の幼稚園・保育所に配付された「幼児期運動指針」の内容をご存知ですか?幼児期の運動遊びはどうあるべきか、小学校につなげるために幼児期にどのような力をつけるべきかについて学びます。	実技1：多様な動きを経験させる運動遊び 幼少期にバランス良く経験させたい「バランス系」、「移動系」、「操作系」の動きを含んだ運動遊びを楽しく実践していきます。道具を一切使用しなくても楽しく遊びを展開する方法を学びます。	実技2：レジ袋を使った運動遊び 近年、「投げる」、「捕る」といった能力が低下しています。これらの能力を向上させるために低年齢からできるレジ袋を使った遊びを実践します。レジ袋を使って多様な動きを引き出す工夫も合わせて紹介します。	実技3：縄を使った運動遊び 短縄を工夫して使うことで、非常に多くの運動遊びに発展させることができます。多様な動きを含んだ運動遊びを仲間とコミュニケーションを取りながら行う方法を学びます。	講義2：心身共にたくましい子どもを育むために 現場でどのような取り組みが可能か?どのような意識を持って子どもと関わるべきか?幼稚園から小学校につなげるために、どのような系統的指導(計画的指導)が重要か?などについて考えます。	修了認定試験 本日の講習を踏まえた論述式の修了認定試験(筆記試験)を実施します。

備考

運動できる服装、体育館シューズ、タオル、飲み物をお持ちください。